

第27回酵素応用シンポジウム

日時：2026年6月12日（金）12:30~17:30（懇親会 17:45~19:00）〔開場 11:15〕
場所：天野エンザイム株式会社 慈善堂ホール（愛知県北名古屋市九之坪西城屋敷 51 番地）
交通：名鉄線「西春駅」東口から徒歩 10 分（西春駅は名鉄名古屋駅から犬山線で 14 分）
参加費：無料
主催：一般財団法人 天野エンザイム科学技術振興財団

《プログラム》

12:30 開会の辞：小川 順（京都大学大学院 教授）
12:35 表彰状授与

【研究奨励賞受賞講演】

<生化学分野>

12:50 演題 1：昆虫酵素触媒場におけるナノカーボン分子変換の分子論的理解
宇佐見 享嗣（名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任助教）
13:05 演題 2：非生物学的な酵素反応によるバイオプロセスの拡張
加藤 俊介（神戸大学 先端バイオ工学研究センター 准教授）
13:20 演題 3：ピッカリングエマルションを反応場とする酵素反応の新戦略
鹿又 喬平（産業技術総合研究所 材料・化学領域 化学プロセス研究部門 主任研究員）
13:35 演題 4：黄麹菌におけるデンプン分解酵素遺伝子とタンパク質分解酵素遺伝子の発現制御機構の解明
田中 瑞己（東京農工大学大学院 農学研究院 准教授）
13:50 演題 5：生分解性ポリアミド(PA)分解酵素研究による環境中の PA 生分解機構解明
山田 美和（岩手大学 農学部 生命科学科 教授）

<食品分野>

14:05 演題 6：枝作り酵素と枝切り酵素のバランスに着目した米の澱粉生合成機構の解明
クロフツ 尚子（秋田工業高等専門学校 創造システム工学科 物質・生物系 准教授）
14:20 演題 7：ヒトミルクオリゴ糖の酵素合成と合成メカニズムの解明
山田 千早（明治大学 農学部 農芸化学科 専任講師）

【企画講演】

14:55 【企画講演 1】『暴れる気候』と農耕の起源 — 人類は「予測不可能」な時代をどのように生き延びたか —
中川 毅（立命館大学 古気候学研究センター センター長・教授）
15:45 【企画講演 2】 Cooperative Catalytic Networks: The Chemistry of Enzymes Relies on Physical Steps
Romas Kazlauskas (Professor, University of Minnesota)
16:35 【企画講演 3】 AI for Science時代の科学技術・イノベーション戦略
永野 智己（国立研究開発法人 科学技術振興機構
研究開発戦略センター 総括ユニットリーダー・フェロー）

17:25 閉会の辞：天野 源之（一般財団法人 天野エンザイム科学技術振興財団 理事長）
17:45 懇親会

《お申し込み方法》 参加ご希望の方は、下記 URL または右記 QR コードよりお申し込みください。

URL：<https://www.amano-enzyme.com/jp/corporate/foundation/symposium/>

締切：5月15日（金）



《お問い合わせ先》 天野エンザイム株式会社 イノベーションセンター内

一般財団法人 天野エンザイム科学技術振興財団 酵素応用シンポジウム 事務局

〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ一丁目 6 番

TEL: 058-379-1220 E-mail: symposium@amano-enzyme.com